

# ボラって

い〜ね



10年以上

**収集ボランティア活動を続けています。****金塚 光男(かなづか みつお) さん**

8月2日に、金塚さんが収集してくださったたくさんのリングプルと段ボール10箱分のペットボトルキャップを、札幌市社会福祉協議会に届けました。収集ボランティアを始められたきっかけは、運動のついでに地域にも役に立つからということでした。特攻隊員として戦争経験もあり、兵隊時代はもったいない、何でも捨ててはいけないと教わり、収集ボランティアも自然に活動されているとのこと。健康なので、これからも続けていきたいとお話でした。

ご近所や道行く市民の方へも参加の声掛けをし、輪を広げています。そうした中、玄関前にそっと置いていく人もいらっしゃるとのこと。置いてあったペットボトルキャップは再度自分で洗浄しているとお話でした。金塚さんは、「この活動によって、自分に変化はない。ただこの度、札幌市社会福祉協議会会長表彰を受賞し、居住町内会の総務部ニュースに「金塚光男」さん おめでとうございます！」と掲載されました。」と、嬉しそうにお話しをされていました。今後もお元気でご活躍ください。





# 福祉除雪事業

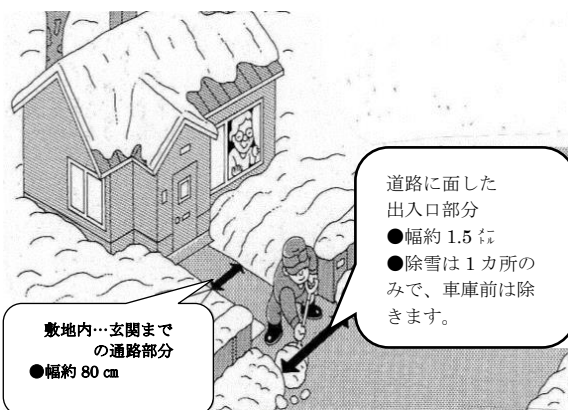
## “地域協力員”を募集しています

札幌市および社会福祉協議会では、高齢者や障がいのある方を対象として、通院や買物などの外出時に支障となる、道路に面した住宅の出入口と玄関先までの通路(敷地内)を地域協力員が除雪する福祉除雪事業を行っています。

また、除雪を行うとともに、利用世帯の方の見守りにも繋がる活動となっています。地域協力員は、ボランティアグループ、NPO、福祉施設、学校、企業などでの登録可能です。手稲区の冬季間の支え合いの活動として、福祉除雪事業の“地域協力員”にぜひご協力をいただきますようお願いいたします。

### 活動内容

活動期間	令和4年12月1日(木)～ 令和5年3月25日(土)
除雪日時	道路除雪が行われた日の 12時(正午)ころまで(原則1日1回)
除雪範囲	道路に面した出入り口部分は概ね幅 1m50cm、敷地内は歩行に支障のない 概ね幅80cm
担当世帯	1世帯から可。1世帯の除雪を複数の方 で担当いただくことも可能です



### 活動費

活動期間終了後(3月末)、担当世帯1世帯につき21,000円をお支払いします。  
(例: 3世帯担当した場合は63,000円)

ご友人やお友達と一緒に、ペアやチームになって活動することもできます！  
関心のある方はお気軽に下記へお問合せ・お申込みください。



### 【問い合わせ・申込先】

〒006-0811

札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階

社会福祉法人札幌市手稲区社会福祉協議会

電話: 681-2644 FAX: 684-8560





## 募集中のボランティア活動

場 所	前田 7 条 17 丁目付近の個人宅
内 容	敷地内の草とり ・ 草刈り (約 80坪)
活動時間の目安	2時間程度の予定で、刈り取れる範囲で
活動予定の曜日・時間帯	①月・火・木・金・土 (午前中希望)
必要なもの	軍手・長柄鎌等 ご使用器具を、ご自身でご用意を希望
募集人数	3名以上
備 考	現地まで交通費のかからない方をご希望
お問い合わせ先	手稲区社会福祉協議会 前田 TEL 011-681-2644



## 収集ボランティア 再開しました！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため取扱いを中止しておりました収集ボランティアにつきましては、札幌市社会福祉協議会をはじめとし、各区社会福祉協議会での取扱いを再開しました。

### 【収集対象】

- ペットボトルキャップ : 洗浄済みのもの
- アルミ製リングプル : 飲料水等の空き缶のふたについているリングプル
- 使用済み切手 : 切手の周りを5mmほど切り残したもの
- 鉛筆 : 未使用に限る



### ボランティア活動センターより

今年の夏は、全国で災害級の大雨に見舞われました。北海道も6月29日に旭川市郊外を流れるペーパン川があふれ浸水被害を受けました。

この被害を受けて、旭川市社会福祉協議会が、登録している災害ボランティアに呼びかけ、約20名の方が集まりました。地域の住民も加わり一緒にボランティア活動をし、大きく活躍しました。

近年、被災した方々の支援に重要な役割を果たしているのが災害ボランティア活動です。混乱や困難な状況の続いている被災地で、「共助」として、そこに駆け付け被災者ニーズに応え、一日も早い復興を被災者とともに目指す災害ボランティア活動は、被災者にとって大きな支えとなっています。災害ボランティア活動の拠点となるのが「災害ボランティアセンター」であり、その多くは地元の社会福祉協議会が行政や関係団体、支援する企業と協力して設置されています。

札幌では、幸いにも今回の大雨での災害ボランティアセンターの設置はありませんでしたが、このような仕組みのあることをご紹介いたしました。興味のある方は、札幌市社会福祉協議会のホームページを、検索してみてください。

